

平成 22 年度 業務改善運動「M-1 グランプリ」の実施について

平成 23 年 2 月総合調整室

1.目的

🚩 浜田市では以下のような考え方で業務改善運動を導入しました。

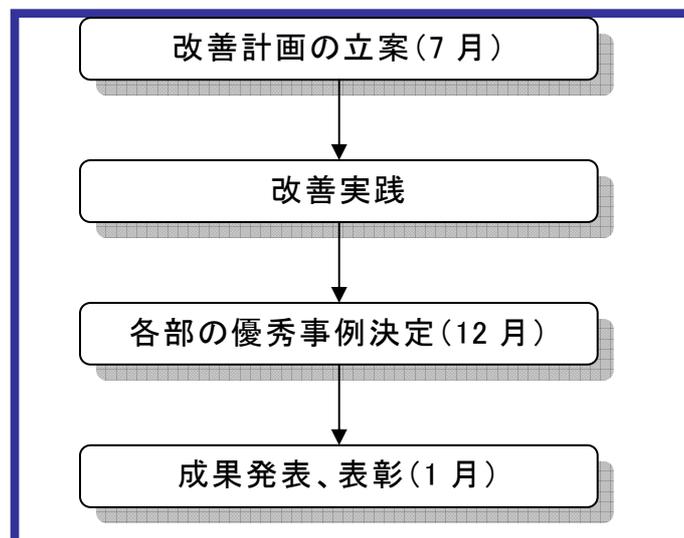
- (1) 行政課題が複雑化、高度化、多様化する中、
- (2) 主体的に課題を見つけ、解決した職場や職員を正当に評価することで、
- (3) 業務に対する動機付けを高めるとともに
- (4) 主体的に業務改善等を考えるような人材育成、組織風土醸成を図り、
- (5) 業務の効率化、職場活性化、市民サービス向上を図る。

2.業務改善運動の定義、流れ

🚩 業務改善運動は、「仕事の進め方や職場環境等について話し合い、より良く(改善)していくための職場単位での実践活動」です。

- (1) 身近な業務に関して誰もが手軽に、かつ、低コストで実施できる内容とし、
- (2) 各職場の状況や必要性に応じて、改善できる仕事のやり方等を協議し、
- (3) 職場（課や係単位）で実現可能な改善テーマを決定し、
- (4) テーマに基づき自主的に取り組みます。
- (5) なお、市の全ての対象として実施し、
- (6) 運動を積極的に推進するため、各部に「改善推進責任者」を設置します。

平成 22 年度 年間スケジュール



3.平成 22 年度 改善計画(7 月)

- ✚ 平成 22 年度は、全 67 課中 52 課から 58 件の改善計画が提出されました。
- ✚ また、今年度は業務改善運動の導入初年であり、係長級以上の職員を対象として、改善手法や業務改善運動等への理解を深めるための研修を実施しました。

改善能力開発研修

日時：平成 22 年 7 月 27 日（火）

場所：市役所 4 階講堂

対象：出席者 154 名（係長級以上）

講師：三菱 UFJ リサーチ & コンサル
ティング株式会社
島崎耕一 氏



4. 成果発表会(平成 23 年 1 月 18 日、浜田公民館)

- ✚ 12 月末時点で各課から改善推進責任者に改善の成果報告を行い、改善推進責任者は、各部・各支所の代表事例を選定しました。
- ✚ 優れた改善事例を全庁的に共有することを目的として、代表 13 チームによる成果発表会を開催し、優秀事例の審査、表彰を行っています。
- ✚ 審査員には、庁内委員(市長、副市長、教育長)に加えて、島根県立大学教授や商工会議所会頭に就任いただき、「市民サービス貢献度」、「業務の正確性・効率性」、「職場改善・人材育成」等の基準に基づき審査しました。

成果発表会

日時：平成 23 年 1 月 18 日（金）

14:00～17:00

場所：浜田公民館

参加者：100 名



🚩 審査結果

最優秀賞及び優秀賞(発表 副市長、表彰 岩谷会頭)

- 最優秀賞(1位) 会計課 「これぞ真のエコ! 課内回覧の電子決裁」
優秀賞(2位) 税務課 「精鋭部隊でスキルアップ」
優秀賞(3位) 三隅自治振興課 「整理整頓! 情報共有! 机の上は、滑走路」



特別賞 業務効率化部門 (発表/講評 小林教授)

- 建設企画課 「工事検査日程の調整」
金城支所自治振興課 「伝票業務の正確性・効率性」



特別賞 サービス向上部門 (発表/講評 光延教授)

- 医療保険課 「職場環境の整備で市民サービスアップ!」
学校教育課 「ふるまい向上プロジェクト・パートI」
浜田消防署 「適正な電話対応」
子育て支援センター 「QRコードを活用して市民サービスの向上を図る。」

特別賞 環境改善部門 (発表/講評 教育長)

- 水産課 「情報の共有化と素早い対応」
水道部工務課 「地域情報と課内情報の共有化」
旭支所自治振興課 「窓口対応なら あたしの十八番じゃないのさっ!」
弥栄支所産業課 「情報の共有化と素早い対応」

5. 全国都市改善改革実践事例発表会

- 🚩 最優秀賞(グランプリ)を受賞した会計課業務見直し隊については、浜田市代表として全国大会出場に出場します。

第5回全国都市 改善改革実践事例発表会

日時：平成23年3月4日(金)

13:00~17:30

場所：北上市

